



在日大韓基督教会
宣教 100 ~ 110 周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

5月1日(日) 2011年 第697号

発行所 福音新聞社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

電話 03 (3202) 5398

発行人 / 崔栄信・編集人 / 洪性完

fukuinshinbun@kccj.jp

info@kccj.jp

[関西地方会] 関西聖書神学院 2010年度 卒業式挙行

지난 3 月 27 日 午後 3 時부터 関西地方会 関西聖書神学院의 本校舍인 大阪北部教会에서 2010 年度 卒業式이挙行되었다. 卒業礼拝는 関西聖書神学院의 教務인 趙永哲牧師(大阪北部教会)의 司会로 시작되어, 神学院理事인 金錦順長老(布施教会)의 祈祷와 大阪北部教会 聖歌隊에 의한 特別讚揚으로 이어졌다.

그리고 神学院理事長인 全聖三牧師(布施教会)가 「내가 보내노라(わたしがつかわす)」라는 題目으로 説教를 한 後에, 神学院院長인 鄭然元牧師(大阪教会)가 卒業生들에게 卒業証書를 授与하였으며, 金鐘賢牧師(浪速教会, 関西地方会 会長)가 祝辞를 하였다. 이어서 神学院理事인 朴珍烈牧師(平野教会)의 祝祷로 卒業礼拝를 모두 마쳤다.

今年度에 卒業 및 修了를 한 神学生들은 7 名인데, 연구과 수료자(研究科 修了者)는 흥순남(洪順男執事, 京都教会), 정수진(鄭秀珍執事, 大阪教会), 이은순(李恩順長老, 布施教会)、김정훈(金正勲執事, 大阪教会)、이순선(李順善執事, 大阪教会)이다. 그리고 본과 졸업생(本科 卒業生)은 김영자(金英子勸士, 大阪教会)、이한선(李漢喜執事, 大阪教会)이다.

関西聖書神学院은 1984 年에 在日大韓基督教会에서 섬길 人材養成、教会奉仕를 위한 信徒教育과 訓練、 그리고 神学形成을 위해 関西地方会를 中心으로 設立된 以来 오늘에 이르고 있다.

(報告: 趙永哲牧師)

<平野教会> 李昌秀長老将立式 金光子名誉執事推戴式

去る 5 月 1 日、午後 4 時より、関西地方会平野教会において、朴珍烈牧師の司会と関西地方会会长、金鐘賢牧師(浪速教会)の司式によって、李昌秀執事の長老将立式と金光子執事の名誉執事推戴式が行われた。

林芳子長老(地方会副会長、大阪教会)の祈祷、沈聖吉長老(関西地方会副会計)の聖書朗読の奉仕の後、鄭然元牧師(大阪教会、曾經総会長)は、ペトロ第一 5: 1 - 5 の御言葉をもって、「羊の群れの模範になる長老」と題して、故殷康世長老(昨年 1 月 15 日に急性脳梗塞で天に召される)の後に、神の不思議な摂理によって再び長老が将立されることについて、神さまの業と恵みについて説教された。引き続き、地方会副書記である崔春子牧師(高槻伝道所)の勧勉、総会副書記である全聖三牧師(布施教会)の祝辞、李海春牧師(大阪第一教会名誉牧師)の祝祷をもって礼拝は終わった。

李昌秀長老(1952 年に生まれ)は、武庫川教会にて幼児受洗を受け、1982 年に平野教会において信仰告白をし、2003 年 1 月からは執事として奉仕した。夫人である丁惠淑執事(初代、平野教会の丁仁寿牧師の娘)と長女と長男も、平野教会で奉仕している。

金光子名誉執事は 1940 年に生まれ、1959 年に平野教会で丁仁寿牧師から受洗し、1984 年から現在まで 26 年間、平野教会において執事として奉仕して来た。夫である権文柱氏と 2 男 1 女の家族がいる。また、昨年 1 月に天に召された、故周会善名誉執事の長女でもあり、兄弟が、今も教会のために良き奉仕をしている。(報告: 朴珍烈牧師)



[福音新聞編集部からのお知らせ]

福音新聞の 3 月号、4 月号、5 月号は、諸事情により 4 面で発行しておりますのでご了承下さいますようお願いいたします。



[大阪北部教会] 尹聖澤長老将立式 同時に 金勝子勧士 就任式も挙行

지난 5月 8日(主日)午後 4時부터 大阪北部教会에서는 尹聖澤執事의 長老將立式과 더불어 金勝子執事의 勸士就任式이挙行되었다. 大阪北部教会 堂会長인 趙永哲牧師의 司会로 始作된 礼拝는 朴龍洙牧師(京都教会)의 祈祷에 이어서 金榮植牧師(大阪北部教会名誉牧師)가 [복음에 합당한 생활을 하자](빌 1:27 – 30)라는 題目으로 説教하였다.

그리고 関西地方会의 地方会長인 金鐘賢牧師(浪速教会)의 司式으로 尹聖澤執事의 長老將立式을挙行하였으며, 金勝子執事의 勸士就任式은 堂会長 趙永哲牧師의 司式으로挙行되었다. 勸勉과 祝賀의 時間에서는 大阪北部教会의 聖歌隊와 関西地方 聖歌隊連合会에 의한 祝歌가 이어졌으며, 任職받는 者들과 教友들에게의 勸勉은 関西地方会 副会長인 林芳子長老가 하였으며, 祝辭는 前地方会長이었던 朴珍烈牧師(平野教会)가 하였다.

계속해서 長老將立을 받은 尹聖澤長老와 金勝子勸士에게 記念品 및 記念牌와 花다발 贈呈을 한 後에 大阪北部教会의 崔永峻長老가 祝文·祝電을 披露하였다. 이어서 前總會長인 鄭然元牧師(大阪教会)의 祝傳로 長老將立式과 勸士就任式을 恩恵롭게 모두 마쳤다.

이번에 長老로 將立받은 尹聖澤長老는 1958 年에 大阪市平野区에서 出生하였으며, 1973 年 堆教会에서 父親尹宗銀牧師에게 堅信礼를 받았으며, 1993 年부터는 大阪北部教会에서 執事로서 奉仕해 왔다. 家族으로는 両父母와 婦人(金太柱執事), 그리고 長男(信傑)과 長女(美惠)가 있다.(報告:趙永哲牧師)



在日本韓国 YMCA 創立 105 周年記念感謝礼拝

去る 5月 21 日、在日本韓国 YMCA(東京都千代田区猿楽町)の 9階ホールでは、韓国 YMCA 創立 105 周年記念感謝礼拝が行われた。創立記念礼拝は、韓国 YMCA の金秀男総務の司会のもとで始まり、韓聖炫牧師(関東地方会会长、西新井教)が感謝の祈りを捧げた。その後、在日本韓国 YMCA の副理事長である李青吉牧師がヨハネの手紙 I : 2 : 7 – 11 を朗読し、本総会が日本基督教団の宣教師として派遣している朴憲郁牧師(東京神学大学教授、千歳船橋教会)が「新しい戒めで生きる道」と題して説教をした。

朴牧師は説教を通して、在日本韓国 YMCA の創立記念礼拝を祝い、このような歴史的な創立感謝礼拝において説教者として奉仕できる喜びと感謝と共に久しぶりに韓国語で説教ができることに対しての感激を述べた。そして、明治学院歴史資料館資料集の第8集として出版された『朝鮮半島出身留学生から見た日本と明治学院』(2011年3月31日)をもつて在日韓国人と留学生たちの歴史を踏まえながら、今日の韓国 YMCA の課題と展望について力説した。そして、今回の韓国 YMCA 創立感謝礼拝では、第23代理事長であった洪基杓牧師(2010年2月28日召天)と第24代理事長であった李鐘善長老(2011年3月24日召天)を追悼して感謝をもつて黙祷した。この礼拝の終わりは、申鉉錫牧師(東京東部教会名誉牧師)の祝祷で終了した。さらに、関東地方会からも多数の牧師たちが参加して、在日本韓国 YMCA の創立を喜び、感謝を共にした。(報告:編集部)



在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して 2006 年 4 月 25 日、創立 100 周年を迎えました。



- ◆ 東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル): フロントは日・韓・英語を対応、24時間サービス。10名様から 2020名様の会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆ スペースワイホール: 220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆ 韓国文化(チャング・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種こどもクラス
- ◆ YMCA アジア語学院(日本語学校)※会員及び教職者割引有

在日本韓国 YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国 YMCA アジア青少年センター〒 101-0064 東京都千代田区猿楽町 2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
関西韓国 YMCA アジア青少年センター〒 537-0025 大阪市東成区中道 3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

(税込み)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592
朝食 ¥200	カルビックッパ、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニューコーヒー付き)	

創世記連続講解（5）

尹宗銀 牧師
(横浜教会名誉牧師)



創世記8章

創世記8章の総主題は、『地面の快復』であるが、それを分解すると4項目に分けられる。

- ① 1-5節：洪水が地面から減退する。
- ② 6-12節：からす（鳥、raven）とはと（鳩、dove）を箱舟から放した。
- ③ 13-19節：ノアは箱舟から出で来た。
- ④ 20-22節：ノアは祭壇を築いて、焼き尽くす献げものをささげた。

本章は、審判の終結と地面の快復を記録している。第七の月の十七日に、箱舟はアララト〔Ararat〕山に止まった。アララト山は、海拔17000尺である。イスラエルの民が出エジプトして紅海を渡ったのも第七の月の十七日（現暦では4月）である。

主が復活した日も第七の月の十七日（現暦では4月）である。だからこれは、救いと新しい生活を現す祝福の日とも言える。また、アララトは、聖地と言う意味である。箱舟は、ノアの家族を恐ろしい審判から聖地へ導いた。

鳩〔ヘブ yonah、英語 dove〕は柔軟であり、純潔な鳥として自分の使命を尽くしたので、聖徒を象徴している。からす〔oreb、英語 raven〕は腐った物を好む汚れた鳥として、肉に属する信者を象徴している。オリ・ブの木は、耐水木であるゆえ、発見されたオリ・ブの葉は、新世界の新しい消息を伝えた。

翌年、第二の月の二十七日に地面が快復されたが、ノアは神の命令を待って箱舟から出で来なかつた。ノアのすべての動作が神の命令に依存していることは、神と共に歩む者にだけ見られるのである。彼は、箱舟から出で来るや否やすぐ祭壇を築いて神に焼き尽くす献げ物をささげた。

新世界で新しく生きる者は、礼拝、感謝、献身をもって神の御前に平伏して礼拝する事は当然なことである。これはノアが神の前で清く完全なので神と共に歩める資格がある証拠である。

不動産管理
アルカンシェル名駅
李光世
(名古屋教会長老)

〒453-0013 名古屋市中村区亀島2-2-27
電話・FAX 052-451-7713 携帯 090-3578-7571
E-mail:kwangse.lee@nifty.com

創世記9章

創世記9章の総主題は、『契約とノアの失敗』であるが、分解すると4項目に分けられる。

- ① 1-7節：新世界での神の祝福。
- ② 8-17節：新世界での神の契約。
- ③ 18-23節：ノアが酒に酔い裸になった失敗。
- ④ 24-29節：ノアの三人の息子に対する預言。

本章は、新世界に対する神の祝福と契約〔ヘブ berith、英語 covenant〕と人間ノアの失敗に関する記事である。1-2節は、人間の新しい出発と神の祝福の更新(1:28)である。つまり、①権威、②供給、③禁制、④警戒(5-6節)等である。同時に、創世記1章28節に対する更新である。1-7節は、『産めよ、増えよ、地に満ちよ』に対して祝福を反復した。

そして12節、13節、17節で3回も洪水の審判を反復しないと約束して、その証拠として雲と虹をして約束を変えないことを証明した。これは、モーセの律法のように人間の行為による条件付の祝福ではなく、燔祭〔焼き尽くす献げ物〕に基づく神の意のままに施す新約的な祝福である。

本章には、神が『わたし』と言う言葉が4回も記録されている(9、11、12、17)。箱舟で救われた者には、再三、洪水で審判することはないと約束したが、キリストによって救われた者には、永遠に滅ぼさないと約束なさつた。

21節は、8章の終りのノアの神第一主義に比べれば、何と恐ろしい醜態〔disgraceful conduct〕であろうか。これで、もって彼は、酒酔っ払いの祖先になった。元来、ヘブライ語で農夫は、「地の人」という意味である。彼は、名実共に地に属する人である。恐ろしい審判も彼を新しくすることが出来なかつた。

たとえ、新たに生まれたとしても聖なる生活を営まないならば、不意に失敗に陥るゆえ、これは、靈的な怠慢から来る墮落であり、それが家庭的な失敗である。公の人として、正義の道を伝えた彼としても私的な生活においては惜しくも失敗してしまつた。だから、歴史的に、聖徒の生活に、一大の戒めであると学ぶのである。



株式会社 ニューキング
有限会社 愛
取締役社長 李鍾善 (名古屋教会長老)
ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL 0593-31-4771(代)
三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL 0564-31-8893(代)

[関東地方会] 東京教会 金海奎牧師의 委任式을 挙行

지난 5월 15일 주일 오후 4시에 동경교회에서는 지난 2년여 동안 교인들이 간절히 소망해 오던 담임목사 김해규목사의 위임식을 거행하였다. 임시 당회장인 조중래목사(船橋教会)의 예배 인도로 시작된 위임예배에는 관동지방회 소속의 목사와 장로를 비롯하여 각 교회 성도들과 일본기독교단 관계자들, 그리고 김해규 목사를 파송한 한국 교회 관계자, 동경교회와 자매결연을 맺고 있는 하와이로부터의 귀빈들 등, 약 400여명이 참가하여 은혜로운 위임식이 시작되었다.

먼저 위임 예배에서는 동경교회에서 부목사와 임시당회장을 지낸 조영석목사(東京綾瀬教会)의 기도에 이어서 김해규 목사를 선교사로 파송한 본국 교회의 서울 남산교회의 최인근 목사가 [희망을 주는 교회](례살로니가전서 1:1-8)라는 제목으로 설교한 후에 관동지방회 회장인 한성현목사(西新井教会)의 인도로 목사위임식이 거행되었다.

관동지방회 서기인 장경태목사(東京第一教会)가 김해규 위임목사를 소개한 후에 지방회장으로부터 서약이 있었다. 여기서 우리는 다시 한번 재일대한기독교가 목사위임식을 행할 때 위임목사와 교인들의 서약을 되새겨 보고자 한다. 먼저 목사는 이렇게 서약한다. “그대는 본 교회를 담임하여 목사의 직무를 성실히 수행하며 교우들을 진심으로 사랑하며 올바르게 교육하고 화평을 도모하며 교회발전과 부흥을 위해 노력하기고 서약합니까?” “예”. 그리고 교인들은 “교우 여러분은 목사의 교훈하는 진리를 받으며 치리에 복종하고 목사가 수고할 때 위로하고 협력하기로 서약합니까?” “예”라고 서약한다. 이 서약들이 대답한 대로 잘 행해지기를 소원한다.

위임목사와 교인들의 서약에 이어서 위임목사와 교인들을 위한 권면을 관동지방회의 은퇴목사인 이승주목사가 하였으며, 축사는 주일대한민국 특명전권대사인 권철현 장로와 동경교회와 자매결연을 맺고 있는 하와이 그리스도 연합 감리교회의 김낙인 목사, 그리고 GMS 일본 지부장인 김신호 목사와 김건 목사(川崎教会)가 하였다.

금번에 담임목사로 전권을 위임 받은 김해규목사는 이 모든 하나님의 은혜에 대한 답사를 통하여 <동경교회에 부임하여 1년 2개월 정도가 지나는 동안에 동경교회 교인들이 자신의 목회에 대하여 많은 사랑과 협력을 아끼지 않았으며, 관동지방회와 재일대한

기독교회 총회에서도 많은 도움을 주었다>는 감사의 마음을 전하였다. 그리고 목사위임식에 참석한 내빈들과 함께 찬송을 부르면서 마지막 인사로 대신하였다.

김해규목사의 찬송답사에 회답을 하듯이 목회 친우인 송균호목사(我孫子聖書 그리스도教会)가 축가를 불렀다. 이어서 한성현목사(지방회장)가 김해규 목사에게 위임목사 위임패를 전달한 후에 동경교회 어린이들이 등장하여 축하 꽃다발을 증정하였으며, 여러 곳에서 보내 온 축문 및 축전을 피로한 후에 모든 식순을 은혜롭게 마치고 1층 교육관에서 축하회를 가졌다. 축하회를 위하여 여선교회 회원들이 풍성하고 맛있는 음식을 직접 준비하여 참석자들이 서로 교제를 함과 동시에 교회 청년들이 준비한 축하 찬양과 담화 속에서 재일대한기독교회의 어머니교회로서의 출발을 다짐하였다.

오랜 산고 끝에 담임목사 위임식을 마치게 된 동경교회는 김해규 담임목사를 중심으로 총회의 어머니 교회로서의 역할을 충분히 감당해 나갈 것이다. 그리고 언제나 재일한국인들과 일본 선교를 위하여 전력하며 하나님에 기뻐하시는 아름다운 교회로 성장해 나갈 것으로 보인다. 마지막으로 김해규 목사와 동경교회 교인들은 금번의 목사위임식에 참여하여 축하와 격려를 보내 준 관동지방회 교역자들을 비롯한 총회 산하 모든 분들과 국내외 내빈들에게 감사의 마음을 전한다고 인사하였다.

(보고 : 김한나목사)



豊かな味はこころまで豊かにする。

喜家房
SAIKABO

代表取締役 吳永錫
(東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店

東京都新宿区四谷3-10-25
Tel. 03-3354-0100
Fax. 03-3353-6200

東日本大震災 KCCJ 募金口座案内

- 銀行 (BANK) : 三菱UFJ銀行
(THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, Ltd)
- 支店 (BRANCH) : 高田馬場支店
(TAKADANO-BABA)
- 種類 (SWIFT) : 普通預金 (BOTKJPJT)
- 口座 (A/C) : 053-1615275
- 名義 : 在日大韓基督教会總会
(THE KOREAN CHRISTIAN CHURCH IN JAPAN)